

機械科学専攻	研究分野	ロボティクスメカトロニクス	Lab. ID MS32
研究室Webサイト	http://as.ms.t.kanazawa-u.ac.jp		
研究課題の概要			
<p>ロボットやメカトロニクスシステムについて幅広く研究を行っています。メカトロニクス技術は現代の生活と密接な関係を築いています。そのため、本研究室では「様々な機械の様々な運動を作り出す」というテーマの下、メカトロニクス技術の基本となるアクチュエータの制御をベースとして、応用となる生産機械やロボットの制御に関する研究を行っています。また、ホームロボットの様に人との距離が近い場所で活用される機械が増えてきていることから、人と機械の協調制御や遠隔操作に関する研究も行っています。大別すると、人に優しいロボットシステム、スマートセンサ、屋内ナビゲーション、新しい福祉機器、産業応用や自動化システムなどです。何でも安易にロボットで実現するのではなく、目的に応じて、本当にロボットがいいのか、専用の高度な機械がいいのかを深く検討して、各課題に取り組んでいます。また、計算やシミュレーションだけでなく、実際に試作を行って、アイデアを実証することを大切にしています。</p>			
博士前期課程/後期課程院生の指導方針、具体的なカリキュラム、研究室での活動等			
<p>前期課程も後期課程も、1人が1つの研究テーマを責任をもって担当し、個別に研究を進めていきます。もちろん、それぞれの研究内容や必要とする技術等は関連が深いので、毎週、研究会を行って(各学生の発表は2週間に1回)、各テーマの進捗状況や問題などについて報告し、全員で議論します。研究時間は自由です。研究会以外でも問題等があれば随時、担当学生と教員で検討します。研究成果がある程度であれば、学会発表を行います。在学中に、前期課程の学生は1回以上の学会発表、後期課程では国際会議及びジャーナル投稿論文、各1回以上を基本にしています。</p>			
研究室生活の紹介等			
<p>学生室に1人ずつ机が与えられます。本研究室ではコアタイム等の設定はなく、研究する時間に関しては学生本人に任せています。必ずしもずっと研究しているわけではありませんが、1日のかなりの時間を研究室で過ごす学生が多いです。時期の節目などにはコンパなどのイベントもあります。研究室に所属する学生同士で、研究だけでなく、就職や日常生活などについて、いろいろと相談し合っています。就職に関しては自動車、電機、建機、重機メーカーに進む人が多いです。</p>			
教員からのメッセージ			
<p>研究の基本は「やる気」と「がまん」だと思います。「やる気」がなければ何も進みません。面白い成果もできません。しかし、研究は努力すれば必ず進むというものでもありません。1回考えただけ1回作っただけで完成などということはほとんどありません。そんなとき「がまん」が必要です。「がまん」して何度も考え直し、何度も試行錯誤すれば、何か生まれてきます。ロボットやメカトロニクスは、メカや電気、コンピュータなどを含めた統合的な技術です。新しいことを考え、いろいろな技術に触れながら、研究開発を楽しみましょう。</p>			
最近(過去3年間+必要に応じて)の修士論文題目			
修了年月	タイトル		
2017.3	ロボット用の油圧駆動システムに関する研究		
2017.3	手の甲に装着する手書き文字入力センサ		
2017.3	金箔と和紙の積層体の自動裁断装置		
2017.3	配電作業支援ロボットの開発		
2017.3	腰部パワーアシスト装置に関する研究		
2016.3	油圧駆動型の管内作業ロボットの設計に関する研究		
2016.3	トラック荷台のシート掛け装置の開発		
2016.3	大型トレーラのための障害物の接触検出に関する研究		
2016.3	ロボットによる未知の紐の動的マニピュレーション		
2016.3	距離画像を用いた3次元環境認識とその応用		
2015.3	ベアリングを利用した減速機に関する研究		
2015.3	電動車いす操縦支援用の走査型レーザ距離センサを用いた障害物の3次元計測		
2015.3	可変張力ばね機構によるロボットアームの省エネ駆動		
2015.3	積層された金箔と箔合紙の切断工程の自動化		
2015.3	ハイブリッドシステム(エンジン+発電機+モータ)の制御系設計		
2015.3	ウォーム減速機を用いたパワーアシスト装置に関する研究		
2015.3	繰り返し順変換を用いたトレーラの後退運動経路生成		

2015.3	3次元計測を用いたロボットハンドリング技術
2014.3	反射マークと赤外LED付きカメラを用いた位置検出に関する研究
2014.3	自動フッククレーン
2014.3	クレーン荷物吊り上げ時の偏心検出システム
2014.3	多様な動きを実現するロボット用油圧駆動システム
2014.3	速度検出にFV変換を用いた場合のサーボ性能の評価
2014.3	多指ハンドにより把持された物体の位置・姿勢の制御
2013.3	多自由度な手先を持つ管内作業ロボット
2013.3	超音波ビーコンを利用した位置記録装置の開発
2013.3	ロボットによる未知な紐の動的マニピュレーション
2013.3	障害物検出センサによる電動車いすの操縦支援
2013.3	管内ロボットの位置姿勢検出システムに関する研究
2013.3	繰り返し順変換による歩行動作の創成
2013.3	ロープ系の張力制御を用いたロボットの開発(ロボクレーンの開発)
2013.3	ロボットによる遠隔操作技術に関する研究
2012.9	繰り返し順変換を用いたトレーラの後退運動経路生成
最近(過去3年間+必要に応じて)の博士論文題目	
修了年月	タイトル
2016.3	Detection of Human by Thermopile Infrared Sensors (サーモパイル型赤外線センサによる人検出に関する研究)
2015.3	Handwriting Input Device Using Scratch Sound (摩擦音を用いた手書き入力デバイス)
研究室連絡先メールアドレス	関啓明 <hseki *at* se.kanazawa-u.ac.jp> 辻徳生 <tokuo-tsuji *at* se.kanazawa-u.ac.jp> 足津正利 <hikizu *at* se.kanazawa-u.ac.jp>